

「僕の後ろに道はできる」 高村光太郎 「道程」

推薦、特色選抜、スポーツ文化選抜入試が終わり次は、私立入試、高等専門学校、県外入試、県立入試、と続き受験も後半に入りました。生徒の表情をみると、程よい緊張感を持ち、頑張っている姿がとても感じられます。反面、不安を隠せない人もまだ見られます。毎回、少しでも不安を解消できないかと言葉を探していますが、今回次のような言葉を紹介します。

「僕の前に道はない 僕の後ろに道はできる」という言葉です。これは、作家高村光太郎の『道程』という詩の一説です。みなさんはこの言葉からどんな事を考えますか。私は、この言葉に「生き方」を感じます。きっとこれから将来、みなさんの前には「こうすべき」「こうしたほうがよい」という道がたくさん現れてくるでしょう。「どの道を選べばいいのかな」と悩んでしまうことがあるかもしれません。「この道で良かったのだろうか」と考えることがあるかもしれません。でも結局はどの道を選んだとしてもよいのだと思います。大切なのは、その道で何をするかです。誰かが勧める道に惑わされるのではなく、自分が決めた自分の歩いていく道に自信を持ってほしいなと思います。あなたが歩んでいるその一步一步こそが、あなたの道です。あなたにしか歩めない人生を歩んでください。



道程

高村光太郎

僕の前に道はない

僕の後ろに道は出来る

ああ、自然よ

父よ

僕を一人立ちにさせた廣大な父よ

僕から目を離さないで守る事をせよ

常に父の氣魄を僕に充たせよ

この遠い道程のため

この遠い道程のため